

＜全体分析＞	試験時間 80 分	解答問題数 6 題
--------	-----------	-----------

<p>解答形式 [1], [2], [3]はマーク式, [4], [5], [6]は記述式</p> <p>分量・難易（前年比較） 分量（減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加） 難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化）</p> <p>出題の特徴や昨年との変更点 典型的な問題の出題が中心であるが，質，量ともに重い計算が求められる． 図形的センスも問われる．</p> <p>その他トピックス 特になし</p>
--

＜大問分析＞

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	積分法	数学Ⅱ	3 次関数の積分, 対称式	標準
(2)	図形と方程式	数学Ⅱ	円と三角形の交点を求める	標準
[2]	数列	数学B	連立型隣接二項漸化式	やや難
[3]	確率	数学A	硬貨を投げ整数を定め, 確率, 期待値を計算	標準
[4]	指数・対数関数	数学Ⅱ	対数関数の方程式	標準
	2 次関数	数学Ⅰ	2 次方程式の解の配置	
[5]	空間ベクトル	数学C	正四角錐, 平面と直線の交点, 体積比	標準
[6]	微分法・積分法	数学Ⅱ	3 次関数とその接線, 囲まれた図形の面積	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

＜学習対策＞

<p>標準的な問題が出題の中心であるが，やや難しい問題，計算量の多い問題も出題される． 例年「数列，確率，指数・対数関数，空間座標，微分法・積分法」は出題されるので，これらの分野は特に学んでおきたい． なお，英数のマーク式の部分が一定の点数に達しないと，[4]～[6]の記述部分は採点されないので注意が必要である．</p>
